



# 市民意見公募制度

【寄せられたご意見をご紹介します】

「山陽小野田市教育委員会子ども読書活動推進計画〈第二次計画〉(案)」にお寄せいただいたご意見と、それに対する市の考え方(対応)をご紹介します。

なお、計画案の全文は市のホームページからご覧ください。

【問い合わせ先】中央図書館 (☎ 83-2870)

## ◆山陽小野田市教育委員会 子ども読書活動推進計画〈第二次計画〉とは

この計画は、次代を担う子どもたちが素晴らしい本との出会いができるよう、子どもの読書活動の推進を図ることを目的とするもので、平成18年度に策定した同計画(第一次)をさらに発展させて様々な取組を示すものです。

<b>山陽小野田市教育委員会子ども読書活動推進計画〈第二次計画〉(案)</b>	<b>【担当課】</b> 中央図書館 ☎ 83-2870
	<b>○公募期間</b> 8月16日(金)～9月13日(金)
	<b>○意見の件数</b> 3件
<b>お寄せいただいた意見</b>	<b>市の考え方(対応)</b>
<b>第3章 基本計画 施策体系</b> 基本計画の施策体系の中で「図書等の資料充実」とありますが、この計画期間5年間の具体的な予算を含めた目標はありますか。	社会教育施設の中核施設として、図書館等の新刊図書、新聞、雑誌などの資料充実は不可欠なものと考えています。しかしながら本市の財政事情は、復調の兆しは見られるものの、依然厳しい状況です。 具体的な目標数値は示せませんが、第一次山陽小野田市総合計画に基づき更なる充実を図りたいと考えています。
<b>全体計画</b> この計画の下位に、実施計画のようなものがありますか。	年度ごとの実施計画はありませんが、巻末の具体的な取り組みの中で、それぞれの項目別に新規事業、継続事業、追加新規事業と仕分けし、掲載しています。
<b>全体計画</b> この計画の中で、各所に「読み聞かせ」との文言がありますが、「読み語り」の表現の方がふさわしいと考えます。読んで、語って、子どもたちの心に訴えて、感動を覚えさせることが大切だと考えます。	基本的には表現方法の違いだけで、同義語と考えています。 「読み聞かせ」という言葉は、文部科学省をはじめ広く使用されているところであり、本計画においても使用させていただきました。 本計画では、基本計画の中で「読みあい」とも表現し、解説も掲載しています。 子どもたちに大きな感動を与える語りが必要と考えています。